

平成 13 年度 SGST 第 3 回研究会 議事録

日時 : 平成 13 年 9 月 27 日 (火) 16:00~18:00

場所 : 中部大学技術文化専門学校 6F 大学院講義室

講師 : 栗田先生(大阪工業大学工学部), 正司氏 (オリエンタル建設)

出席者 : 赤塚(宇野重工), 荒瀬(第一技研C), 安藤(瀧上), 泉野(玉野C), 大平(創建), 岡本(パシフィックC), 小川(名古屋道路エンジ), 小澤(日本車輛), 落水(コベルコ科研), 勝俣(佐藤鉄工), 川合(名大), 河尻(NKK), 櫛田(帝国建設コンサル), 小澤(建技研), 後藤(東洋技研), 阪野(瀧上), 佐光(第一技研C), 澤田(宇野重工), 塩見(中部大), 柴田(大日C), 島本(コベルコ科研), 杉浦(構研情報), 館(日本橋梁), 田中(日本車輛), 田中(日本電子計算), 田中(中部復建), 鳥本(中央C), 中川(瀧上), 亀子(瀧上), 深田(金沢大), 藤澤(日本建設C), 古市(第一技研C), 前川(金沢大), 水野(篠田製作所), 吉(愛工大), 袁(愛工大), 吉川(日本車輛), 芳崎(日本車両), 渡辺(オリエンタルC), 山田(ピー), 以上40名(敬称略)

1. 定期研究会

講演「複合構造橋梁の継手構造について」 オリエンタル建設 正司氏

PC 橋梁メーカーからの視点で最近のコンクリートと鋼の継手構造についての事例紹介および説明があった。

- ・波形鋼板ウェブPC 橋の床版と波形ウェブの主な接合形式について, 事例を交えた紹介
- ・鋼トラスウェブ橋の接合部の事例

講演「最近のドイツにおける鋼・コンクリート合成橋梁」 大阪大学工学部 栗田先生

複合構造は, 合成構造, SRC 構造, 混合構造に大きく分類される。その中で と に着目し, ドイツの合成構造に関する事例紹介としてアルプレヒツグラーベン橋(開断面ボックス桁), イン橋(2重合成連続箱桁橋), マイン橋(二重合成トラス橋), ナーヘ橋(圧延桁橋), VFT 工法についての説明があった。

以上//

平成 13 年度第 3 回 SGST 幹事会 議事録

日時 : 平成 13 年 9 月 27 日(木) 15:00~15:50

場所 : 中部大学技術文化専門学校 6F 大学院講義室

出席者: 塩見(中部大), 小澤(日本車輛), 田中(日本車輛), 前川(金沢大), 杉浦(構研情報), 安藤(瀧上), 岡本(パシフィック), 中川(瀧上), 芳崎(日本車両), 山田(トピー), 9 名

幹事会議事内容

1) 会費の納入について

- ・現在の会員数 約 130 名, 内正会員約 90 名, 特別会員 30 (社)
会費の納入状況 正会員 60 名, 特別会員 27 (社)

以下の議論が行われた

- ・会員の継続意思の確認と会費の納入を明確にすべき
- ・2 年に一度くらいの割合で名簿確認を行う。
- ・会員の規定 (法人会員の資格で参加可能な人数枠の設定等) をある程度設けるべき
- ・上記については収入減につながるので一度田中幹事がたたき台を作り, 幹事会に諮る
- ・今年度分会費未納の方については, メール等で再度通知

2) 定期研究会の予定

- ・第 2 回研究会 8/21 9/27 台風のため変更
- ・第 3 回研究会の日程は予定通り。場所は日本車輛製造(株)のホール。講師は白木渡氏 (香川大), 佐々木葉氏 (日福大), 担当は清水幹事。従来どおの方法でリアクシメントを行う。
- ・12/18 分について酒造幹事へ確認, 2/19 は葛幹事へ確認
- ・来年度総会時の講師依頼は塩見代表が担当

3) 見学会について

- ・現在探索中, ホームページを通して会員にも呼びかけを行う
- ・バスをチャーターすれば会員が参加しやすく, また, 中部圏から足を伸ばせる

4) SGST ホームページについて

- ・ホームページの改定作業は概ね終了
- ・技術資料の提供が瀧上工業安藤会員よりあった。
- ・委員会報告書 山田委員会分が修正作業中
- ・ホームページに関する費用
今年度約 20 万円 (内 10 万円作成費, 残りはメンテナンス費その他)
15 万を SGST から, 5 万を山田委員会から充当
次年度以降はメンテナンスに 5 万円/年程度
- ・リンクについて
土木学会へのリンクは岡本担当幹事より打診
国土交通省, 日本構造協会なども検討していく
特別会員の会社も確認の上リンク先へ追加

以上//